

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2023年 7月 31 日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府綾部市城山町7番1	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 三ツ星ベルト技研株式会社 綾部生産システム開発センター 代表取締役 竹田 和浩
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	I S O 1 4 0 0 1 (2 0 1 5 年 度 版)
適 用 範 囲	綾部工場
導 入 年 月 日	2002年 1月 19日
認 証 番 号	4539951
基 本 方 針	三ツ星ベルトグループは、全ての事業活動において、「人を想い、地球を想う」の基本理念のもとに、①環境管理システムの維持 ②コンプライアンス義務の履行 ③ステークホルダーとの協力 ④技術力の活用 ⑤継続的改善の実施 の5項目を中心に、持続可能な社会の実現を目指し、地球規模の視野に立った環境保全活動を行い、社会に貢献する企業づくりを推進する。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	①2022年度Co2排出量低減の取り組み(2013年度実績20%以下) ・電力Co2 6,309/Co2以下 ・重油Co2 6213.9/Co2以下 ②エネルギー使用量原単位低減の取組(2021年度実績以下) ・電力 3,732kwh/t以下 ・蒸気 12.575t/t以下 ③ゼロエミッション維持 ・埋立処分率 1.0%以下
目標を達成するための取組の内容	省エネルギー(Co2) ・エアコンプレッサーA-2、エアコンプレッサーC-1更新 ・セッターライン空調機更新 廃棄物排出量の削減 ・ゼロエミッション継続維持
目標を達成するための取組の進捗状況	省エネルギー(Co2) ・エアコンプレッサーA-2、エアコンプレッサーC-1更新 ・セッターライン空調機更新 廃棄物排出量の削減 ・ゼロエミッション継続維持
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	電力Co2排出量は目標達成。重油Co2排出量は目標未達。エネルギー使用量原単位については、蒸気原単位は目標を達成。電力原単位は未達。廃棄物ゼロエミッションの継続維持については目標達成。 今後の継続課題として、蒸気廃熱回収や漏洩対策、電力使用量については、空調、ユーティリティー設備などの運転管理の見直しによる低減が必要。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について3ヶ月に1回確認を行っている。これまでに違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境方針、規定、要領の大きな見直しは必要ない。2022.4~2023.3迄において、環境マネジメントシステムが継続して有効に機能していることを認める。国内の廃プラ処理を取り巻く状況は、依然として厳しい状況である。新規業者調査をはじめ、情報収集に努めると共に、引き続きリサイクルの推進、再資源化転用の検討を進めて、産廃処理費用のコスト削減を図ること。エネルギー使用量削減に関しては、蒸気は目標達成することができたが、電力は目標未達。2023年度も、施設課を中心に改善活動（省エネ、蒸気漏れ対策など）に引き続き努めること。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。